

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひだまり作成日: 平成 29 年 9 月 25 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員を育てる取り組み	在職年数が短い職員が多く、日常的な介護に追われていたが、職員一人ひとりが落ち着いてきているので、職員の介護知識や技術の向上に取り組み、誰が介護しても、同じようなレベルの介助が出来るように努力し、利用者の明るい笑顔に繋がる、介護の実践を目指す。	外部の研修会に、職員の介護力や習熟度、意欲等に合わせて、交代で参加してもらい、内部研修会の中で職員に報告し、職員が知識を共有し、介護力の向上を図り、職員一人ひとりの意識の高揚に取り組んでいく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	職員が定着してきているので、個別やグループで、日常的な外出の支援に取り組み、利用者の気分転換や、生きがいに繋がる外出支援に取り組んでいく。	利用者が重度化しても諦めないで、近隣の散歩や買い物、ドライブに出かけ、自然の風に触れて、季節を利用者の五感で感じてもらい、生きる力に繋がる外出の支援に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。